

第 108 号

育成会

会報

令和2年度版

発行所

一般社団法人
広島県手をつなぐ育成会

広島市西区打越町17-27
育成会総合福祉センター内
TEL (082)537-1773
FAX (082)537-1778
編集責任 金子麻由美

支部を訪問して見えてきた課題

広島県手をつなぐ育成会 会長 金子麻由美



新型コロナウイルスの感染拡大が終息しない中、全国的に流行の第三

波の到来が指摘されています。会員、関係者の皆様には、大変不自由な生活を強いられていることと存じます。

そのような状況の中、会員の皆様

○新型コロナウイルス感染症の対応について

自宅で生活をされている方から一番多く聞かれたのが「本人や、介護する家族がコロナに感染したら、どうすればいいの?」という言葉でした。本人や家族の感染が判明した場合、病状や家庭の事情に応じて対応が変わります。まずは利用している相談支援専門員に相談し、様々な

の困りごとなどを直接お聞きしたいと考え、支部訪問のお願いをしたところ、13の支部を訪問することができました。受け入れていただいた支部の皆様、ありがとうございました。また、この大変な中、特に入所施設では、職員の皆様のきめ細やかな対応に頭が下がる思いがしました。

場合を仮定してシミュレーションしておきましょう。広島県では家族以外の方が支援する場合の予算措置をしてくれていますので、支援を考えると幅広いかえ方ができると思います。

広島県手をつなぐ育成会の対応として、互助制度に「コロナ特例」を設けました。新型コロナウイルスに感染し在宅において治療された場合、

「入院に準ずる措置」として対応いたします。

全国手をつなぐ育成会連合会の対応として、衛生用品を全国7か所へ備蓄しました。中国・四国ブロックの備蓄品は岡山県手をつなぐ育成会で管理しています。公的な支援が提供されるまでの緊急的な対応をすることが目的です。もし感染が発生した場合、備蓄品の利用を希望される方は速やかに広島県手をつなぐ育成会へご連絡ください。(備蓄品の目安・ヘルパー1日延べ2名×3日で積算・個人用防護服6着、N95マスク1箱、ゴーグル6個、手指消毒液1本、衛生手袋1箱が1セットです)

広島県手をつなぐ育成会のホームページでは、行政、全育連からの情報をリアルタイムでアップしていますので、ぜひご覧ください。

○新規会員を増やすために

多くの地域支部では、新規会員、特に若い世代の入会がないと言われています。そんな中、神辺育成会では、小学校へ入学する子どもを対象に、「小学校入学を祝う会」を毎年開催しています。参加の案内は通園施設へ出し、そこで育成会を知り加入する方もいるとのこと。とても良いアイデアだと思いました。同じように、特別支援学校とも繋がる

手立てがあると良いと思いました。

○重度化・高齢化について

高齢化を心配する声も多く、日中支援型グループホーム(重度障害や高齢期の障害のある人を利用対象としたグループホーム)や、65歳問題(障害のあるなしに関係なく原則として65才以上の人は介護保険を利用する、ただし介護保険にないサービスは障害福祉サービスが利用できる)などについて話をしました。

そうしたなかで大切なのは、親が元気なうちに親にしかできない「備え」です。本人の今後の暮らし方やお金をどのように残すかなど、今回サポートファイル改訂版と共に作成された「親心の記録」を記入してみるなど、ぜひ、出来ることから始めていきましょう。

この他にも話題は多岐にわたりましたが、皆様と実際にお会いし、生の声を聴くことができたことは私にとつて大変有意義なことでした。これからも、広島県内の障害のある人とご家族が、その人らしく豊かな暮らしができるよう、共に歩んで参りたいと思います。

今後とも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

感染拡大の影響で、広島県大会をはじめ、様々なイベントが中止となりました。会員の皆様が顔を合わせる機会も激減の皆様にお届けしている会報で支部の皆様をご紹介します。これから発行する会報に随時掲載していく予定です。広島手をつなぐ育成会事務局まで、お気軽にお問合せください。

松陽寮

松陽寮支部（松陽寮保護者会事務局 本田）

松陽寮は、昭和56年に東広島市八本松町に広島県立心身障害者コロニーの知的障害者更生施設として開所し、翌57年に松陽寮保護者会が発足しました。（現在は広島県立障害者療育支援センター 障害者支援施設）支部長は松陽寮長で、保護者会と協力し合って活動をしています。利用者は現在140名在籍していて、全員が育成会の会員となり、互助制度にも加入しています。

松陽寮支部としての活動は、県大会、中四国大会、全国大会への参加を募り、毎年協力をしています。また、互助制度の事務（おもに給付金の申請手続き等）をしています。国内の災害の際には、義援金を送らせて頂いています。

松陽寮保護者会では、例年は全体会議を年4回開催し、保護者の皆さんの情報交換、意見交換の場を設け、育成会の大会参加報告も行い、理解を深めてきました。

また、環境整備や松陽祭にも参加していますが、利用者も保護者も高齢化し、その数は減少している現状があります。

今年は新型コロナウイルスの為、ほとんどの行事が中止となり、保護者会も開催できない状態が続いています。保護者さん同士も会う機会がなくなり、残念に思っています。

ただ、利用者の皆さんは、保護者さんと会うことが難しいなか、職員の方達の様々な工夫や取り組みによって、明るい笑顔を見せてくれています。

最後になりますが、今年の県大会は東広島で開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。いつまで続くかもわからないコロナ禍ですが、今できることを精一杯努力し、再び育成会の大会に参加できるようにすることを願っています。

※松陽寮(広島県福祉事業団)ホームページ = <http://www.ryoiku-hiroshima.gr.jp>

太田川学園保護者会

太田川学園保護者会連絡協議会 会長 岩本 吉朗

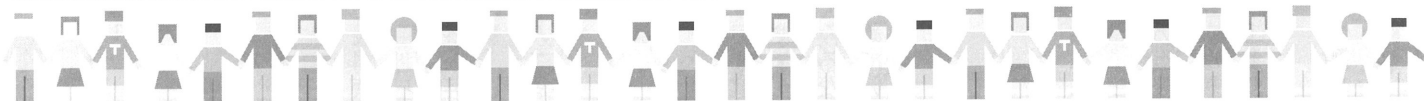
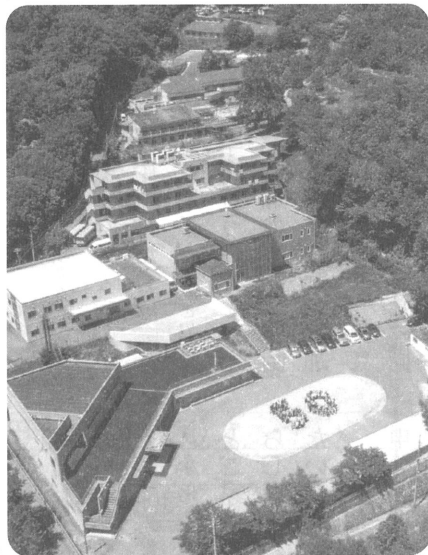
太田川学園は、昭和43年4月に創立され、52年後の現在、入所、通所、共同生活のほか、相談支援事業所（「リガーレ」という愛称で親しまれています）を含め、13施設を擁し、職員約230人が、知的障害のある利用者約350人の支援に当たっています。

太田川学園の各施設に、合計10の保護者会（「各部保護者会」といいます）が結成されており、これらの施設の利用者の保護者は、各部保護者会のいずれかに加入しています。各部保護者会の連絡調整組織として、太田川学園保護者会連絡協議会が置かれています。

各部保護者会は「家庭と学園が協力し、利用者の福祉の増進を図り、併せて会員相互の親睦を図る」ことを目的としています。太田川学園は、極めて安定的な経営体質です。子どもは、その更なる発展を願いながら「学園の応援団」として活動しています。

6月に運動会、10月に物故者追悼式と学園祭「おおたがわまつり」、12月に研修会・懇親会を、いずれも学園側と共催で行っています。運動会は、全利用者とその保護者が参加して、突き抜けた面白さがあります。物故者追悼式は、太田川学園で生活し、生涯を全うされた方々をしのぶ集いです。学園祭には子どもも屋台を出して、地域の皆様との交流に一役買っています。平成29年の研修会の講師は「あび隊」の皆さんでした。今年は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ほとんどが中止を余儀なくされ、誠に残念です。

各部保護者会の10人の会長は、当学園を経営する社会福祉法人三矢会の評議員に選任されており、その声を経営に反映させることができます。隔月に開かれる会長会には、理事長が出席し「新型コロナ」を含め、その時々の経営課題について熱く語っています。



広島県手をつなぐ育成会支部紹介

今年度は新型コロナウイルスし大変残念です。そこで、会員掲載を希望される支部は、広

西の池学園

社会福祉法人 平成会 宮領ワークセンター 管理者 内田 亘

この度、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に罹患された方々には謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご快復を心よりお祈り申し上げます。また、最前線で国民の健康福祉に貢献してくださっている医療従事者、介護従事者に心より敬意を表します。不安な日々を過ごされている皆さまにおかれましても、一日も早い事態の収束を心よりお祈り申し上げます。

社会福祉法人平成会「西の池学園」は1969年に創設し、今年で51年目を迎え、法人分離31年になります。これまで、地域の方々や利用者のニーズに応えながら事業展開を増やし、現在13事業所を運営しております。

昨年12月に開所した宮領ワークセンター（東広島市高屋町）は、就労移行支援事業と就労継続支援B型事業の多機能型事業所として事業を開始しました。ここでの仕事は、「あおぞらぱん屋さん」の製パン作りとカフェ経営、ランチ販売と給食製造、委託作業、施設外就労、一般就労に向けた支援を行っています。「あおぞらぱん屋さん」は、東広島庁舎1階と、白市店（同市町小谷）に続き3店舗目となり、連日地域の方々で賑わっています。中でも「絹生食パン」（1斤260円）は、遠方から買いに来られるお客様や、定期注文されるお客様で、即完売という嬉しい状況が続いております。

この宮領ワークセンターは、地域の方が気軽に立ち寄り、集える場を目指し、サークル活動やパン作り体験、イベント等で利用していただいています。これからも、世代や分野を超えて繋がり、暮らしや生きがいを共に充実させながら安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指していきます。

また今年2月には、企業主導型保育事業として「あおぞら保育園」を開設しました。福利厚生の一環としての保育園で、多様な就労形態に対応する保育サービスの拡大を行い、仕事と子育てとの両立に資することを目的としています。現在、新卒採用者の3年間の定着率は90%以上となっています。更に、育休・産休明けの復帰は100%。今後も保育事業を活用しながら、女性が安心して働けるようサポートしていきたいと思っております。あおぞら保育園では地域枠も設けており、地域貢献にも繋げていきたいと考えております。



特定非営利活動法人 福山手をつなぐ育成会「65年の歩み着実に」

福山手をつなぐ育成会は広島県内の地域育成会として歴史が古く1955年に発足し、今年で65周年を迎えます。部会活動として学齢期部会・仲良し会・施設部会のほか、今年開設20周年を迎えた就労継続支援事業A型「ふくやまクリーンメイト」を運営しています。

学齢期部会では、親子でしゃべり場（カラオケとおしゃべり会）や山登り（散策）、調理実習などを行っています。仲良し会では、本人役員会を開催し、自分たちで計画したバス旅行やスポーツの練習、調理実習、カラオケ大会、ボウリング大会、遠足、清掃ボランティア活動などを行っています。また県大会、中国・四国大会、全国大会にも支援者と一緒に積極的に参加しています。

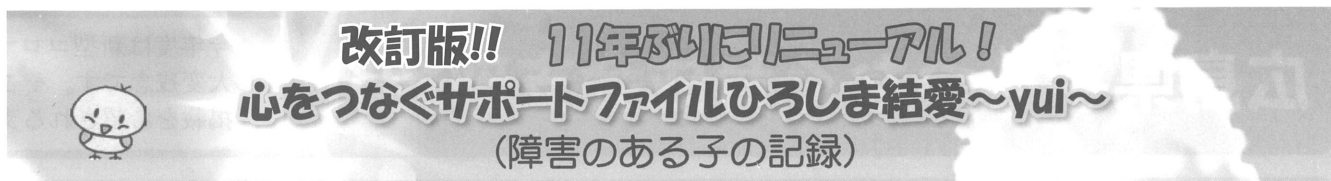
施設部会では、グループホームなどに入所されている家族が情報交換の場として調理実習、勉強会、ボランティア活動などを行っています。

今年度は新型コロナウイルスの影響で多くの行事が中止となって、不安とストレスを抱えておられますが、三密にならない様にマスクの着用、手洗い、消毒、うがいの大切さを伝えながら、活動をしていきたいと思っております。

また、福山手をつなぐ育成会全体としては、「20歳を祝う会」（障がいのある方の成人を家族と支援者で祝う会）や「ふくいくカフェ」（相談やおしゃべり会）、を楽しく開催しています。

この他、防災対策特別委員会を設立し、消防署の見学会や本人を含めた防災研修会、神辺育成会と合同で研修会や障害福祉サービス事業所説明会（複数の事業所の特色や作業内容などの説明）を開催しています。また、広島県の「あび隊」を参考に「びんご隊」を昨年結成し、活動をはじめました。

福山手をつなぐ育成会でも近年会員が減少しています。地域育成会として活性化するためどのような事が出来るのか、会員の皆さんと一緒に幸せと安心の未来に向かって手をつないでいきます。



広島県手をつなぐ育成会活動部会 徳永 玲子

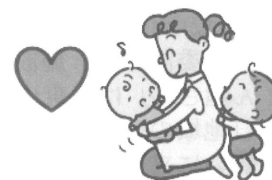
障害のある人は、成長していく過程で、福祉、医療、教育など様々な分野の機関や専門家などの支援を受けています。

このサポートファイルは、こどもの生育歴など詳細で正確な情報を記録する広島県内共通の様式で、支援者が変わっても一貫性のある支援を可能にするためのツールとして2009年3月広島県統一版モデルが誕生しました。

2020年秋、11年ぶりにサポートファイルの内容が見直されました。

サポートファイル記入学習会を開催し、会員さんの話し合いの場に行ってみませんか。

- 1 各期の記入ファイルが2つになりました
 基本のファイル 全員が記入
 付録のファイル 必要なページを取り出して記入
- 2 各期のファイルの内容が充実しました
 発達障害の方や医療的ケアの必要な方向けのページが増え内容も充実
 手帳やサービス等の記入のページが一覧になり更に詳しく記入できる
- 3 学校の先生や支援員さんとの語らいのページができました
- 4 『親心の記録』ファイルを新しく作成しました
 権利を守る制度を含む 親の高齢化・親亡き後のためのファイル



○緊急時に持ち出しができるフェイスファイルは、子どもさんに関する重要事項を記入するものです。子どもさんを支援するために必要なこと（医療情報・福祉情報・生育歴等）を記入することができ、子どもさんまたは保護者に何かあったときにすぐ対応ができます。
 おやごさん以外の方が見る事を想定して記入しましょう。

○将来二十歳になったとき、障害基礎年金の申請をするときに役に立ちます。

○保管は自宅のわかりやすい場所に、本人の情報は家族で共有しましょう。

○成長に伴い、書き換え・書き加えをしましょう。
 ○学校・病院などで提示し活用してみましょう。

○相談歴を記入する欄には、最初に子どもの発達で気になった時のこと、〇〇に相談したこと、保健所・医療機関・療育機関に相談した時のことなど、日付とともに書き込みをしておきましょう。



◆◆◆「サポートファイル改訂版」
 「親心の記録」の入手方法 ◆◆◆

「広島県 サポートファイル」でダウンロード
 できます。

また、各市町の障害福祉関係の窓口で配布して
 いるところもありますのでお問合せください。



ダウンロード
 QRコード



生命保険協会
広島県協会助成事業

がんばれ！アンジュヴィオレ

県育成会では、5年前から（一社）生命保険協会広島県協会（以下、生保協会）からサッカー観戦招待のための助成をいただいています。これは生保協会が地域貢献の一環として実施されているもので、この間、広島広域公園で開催されるJ1「サンフレッチェ広島」と女子サッカープレナスチャレンジリーグ「アンジュヴィオレ広島（以下、アンジュヴィオレ）」のゲームを中心に、近隣の支部、特別支援学校、特別支援学校設置小学校へ案内し、知的・発達障害のある児・者と保護者・支援者を試合観戦に招待してきました。

昨年のアンジュヴィオレのゲームでは、ゲーム前のウォーミングアップ見学会の後、開会セレモニーでは11人のちびっ子がエスコートキッズとして参加し、セレモニーを盛り上げてくれました。



(2019. 5. 19 エスコートキッズ)

今年はコロナ禍で無観客での試合を余儀なくされる中、アンジュヴィオレが試合観戦を快く受け入れてくださり、10月24日、11月1日両日、白熱したゲームを観戦することができました。

アンジュヴィオレは県育成会の所在地、横川・三篠地区の有志を中心として発足した「NPO法人 広島横川スポーツ・カルチャークラブ」のプロジェクトとして誕生した地元の女子サッカーチームで、来季もアマチュアチームとして活動を継続していくことになっています。これからもサッカー観戦のご案内をする予定にしていますので、ご参加いただき、応援していきましょう。



(2020. 11. 1 観戦風景)

【選手のコメント】
背番号7番 本藤理佐キャプテン
(写真 前列 中央)

「西地区での優勝を決められてよかったです。サポーターくださった皆さんののおかげです。12月にはチャレンジリーグ優勝決定戦がありますので引き続き応援よろしくお願いたします。」



(2020. 11. 15 西地区1位決定)

手をつなぐがん保険

(団体総合生活保険)

障がいのある方とご家族をワイドにお守りする保険

特長1

代理手続き代理告知が可能

障がいのある方向けプラン

障がいのある方のご家族、成年後見人、保佐人・補助人、施設職員・従業員¹による代理手続き・代理告知でのご加入が可能です。
*1被保険者が入所する施設の職員・従業員等

特長2

告知対象疾患の緩和

障がいのある方向けプラン

手をつなぐがん保険は以下に関する告知は必要ありません。²
*2健康状態の告知そのものが不要となるわけではありません。

特長3

成年後見費用を補償

障がいのある方のご家族向けプラン

成年後見人等を選任する時に必要となる費用³を実費で最大10万円まで補償します。
*3 補償の対象となる費用については、パンフレット兼重要事項説明書をご確認ください。

知的障がい

心理的発達の障がい

多動性障がい

行為障がい

行為及び情緒の混雑性障がい

チック障がい

神経系の先天奇形

ダウン症候群

エドワーズ症候群

ターナー症候群

てんかん

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は下記お問い合わせ先(取扱代理店)に資料請求をお待ちしております。

【お問い合わせ先 取扱代理店】

ぜんち共済株式会社
ZENCHI

〒102-0073
東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階
0120-322-150
TEL:03-6910-0850 FAX:03-6910-0851
MAIL: gan@z-kyosai.com
URL: http://www.z-kyosai.com/
(営業時間 平日9:00~17:00(土日・祝日・年末年始を除く))

【受保険会社】

東京海上日動火災保険株式会社
公務第一部東京公務課

〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4
TEL.03-3515-4126
(営業時間:平日9:00~17:00)

この広告は、「手をつなぐがん保険」の概要を紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険のペットネームです。ご不明な点等がある場合は、代理店までお問い合わせください。

ホームページをご活用ください！

広島県手をつなぐ育成会のホームページは会員の皆様のお役に立つ情報を掲載しています。広島県の新型コロナウイルス感染症への対応、全国手をつなぐ育成会の保険の情報などなど、随時更新しています。「お気に入り」に登録をしておけば、お手軽にサッとつながります。



スマートフォンからもご覧いただけますので、QRコードを読み取って、ぜひアクセスしてみてください。



広島県手をつなぐ育成会
ホームページ

<http://pref-h-ikuseikai.or.jp/>

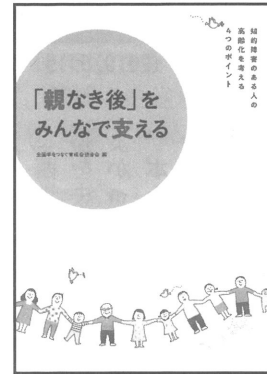
広島県手をつなぐ育成会

検索

また、各支部の研修会・イベント情報も掲載しています。掲載希望がある場合はお気軽に県育成会事務局までお問い合わせください。

全国手をつなぐ育成会連合会の本 「親なき後」をみんなで支える ～知的障害のある人の 高齢化を考える4つのポイント～

親亡きあとに不安を抱える皆さんへ「相談」「医療」「住まい」「お金」の4つの視点から考える全育連の書籍です。障害のある子に残すエンディングノート「親心の記録」の記入と一緒にご一読ください！



1,100円 (税込)

広島県手をつなぐ育成会事務局にて
お買い求めください。

互助制度（旧付添看護料共済）

<http://pref-h-ikuseikai.or.jp>

広島県手をつなぐ育成会

検索

この共済は3つの給付制度があります

- ①入院保険 病気やケガで入院したときの補償
- ②傷害保険 本人の傷害（ケガ）の補償
- ③他人への損害賠償金 他人への損害賠償

プランは2つあります Aプラン（12,000円）、Bプラン（18,000円）／年間
補償内容（Bプランの場合 年間掛金 18,000円）

入院保険	・付添看護保険料	1日に付き	5,000～8,000円
	・差額ベッド費用	1日に付き	3,000円までの実費
	・入院諸費用	1日に付き	1,000円
	・入院一時金	1入院に付き	5,000円
傷害保険	・ケガによる入院	1日に付き	3,000円（180日限度）
	・ケガによる手術		15,000・30,000円
	・ケガによる通院	1日に付き	1,000円（90日限度）
	・ケガによる後遺障害		8万～200万円
他人への損害賠償金	・ケガによる死亡		200万円
	・対人・対物 1事故		5,000万円 限度（自己負担なし）

詳しい資料のご請求、お問い合わせは下記までどうぞ。

《共済事務局》 一般社団法人 広島県手をつなぐ育成会

電話 082-537-1773 FAX 082-537-1778

《保険委託引受会社》 AIG保険会社 広島支店

担当 ジェイアイシーウエスト広島株式会社

電話 082-511-7025 FAX 082-511-7026

☎お気軽にお電話
ください。